

# 平成22年度 当初予算の概要をお知らせします

# 一般会計 420億3千万円

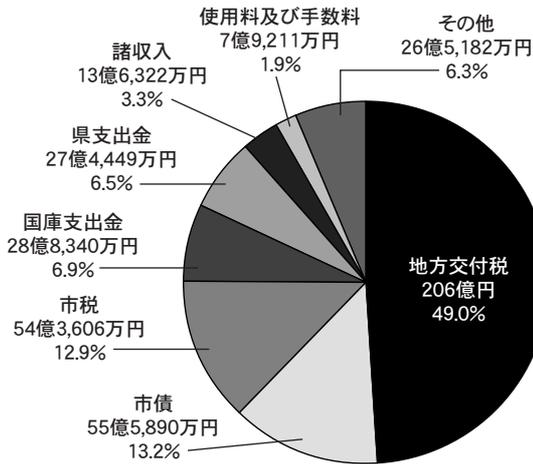
## 予算のポイント

- ① 予算規模425億円以内(将来ビジョン「歳出・歳入改革」)とする財政再建の堅持に努めました。
- ② 重点施策事業約7億円(将来ビジョン「成長力強化戦略」)の積極的予算措置と成長戦略の実効性を確保しました。
- ③ 長引く不況などを踏まえた島内経済の「下支え」としての市単独公共事業の規模を確保しました。

平成22年度の当初予算は、一般会計で420億3千万円(前年度比12億3千万円の増)、特別会計を合わせた総額で634億7442万円(前年度比10億2555万円の減)となりました。平成22年度当初予算は、昨年12月に策定した「佐渡市将来ビジョン」の実現に向けて第一歩を踏み出す予算として、将来ビジョンで掲げた「歳出・歳入改革」と「成長力強化戦略」を柱に予算編成を行いました。

## ◆一般会計

### <歳入>



その他には、地方譲与税(6億円)、地方消費税交付金(6億円)、分担金及び負担金(3億8,692万円)などがあります。

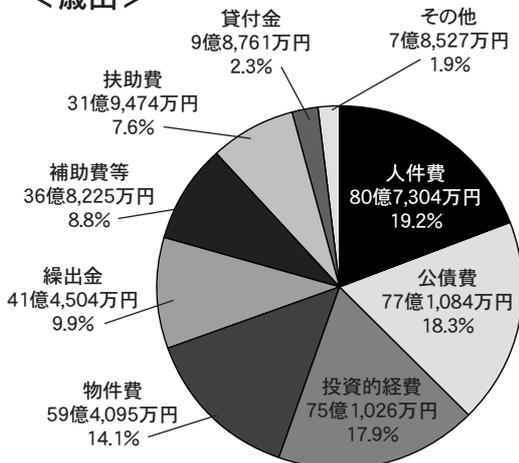
### 歳入の概要

- ・ 地方交付税の「地域活性化・雇用等臨時特例費」の創設などによる増
- ・ 小中学校の統廃合に伴う整備などによる地方債の増
- ・ 景気の低迷などによる市税の減
- ・ 子ども手当の創設による国庫支出金の増
- ・ 市の貯金である財政調整基金の取り崩しはしません

### ◎市税の内訳

市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	入湯税
21億4,411万円	27億136万円	1億9,981万円	3億1,106万円	7,972万円

### <歳出>



その他には、積立金(3億1,775万円)、投資及び出資金(2億4,516万円)などがあります。

### 歳出の概要

- ・ 職員の適正配置と効率的な組織改編による人件費の減
- ・ 陸上競技場整備事業などの合併特例債事業の増による投資的経費の増
- ・ 子ども手当の創設などによる扶助費の増